

# グローバルにおける自動運転シャトル市場見通し（～2030年）

## 【概要】

本調査では、台頭する自動運転シャトルモビリティ市場をさまざまな角度から分析しています。具体的には、ステークホルダーのエコシステムとOEM、自動運転関連のスタートアップ、技術プラットフォームや都市の高まる重要性、規制の見通しと商業化の可能性、ビジネスの可能性と収益モデル、コスト比較、データとデータ共有の重要性、グローバル市場の見通しなどが含まれています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2030年までです。

## 【内容一覧】

エグゼクティブサマリー

調査範囲・目的・背景・手法

定義・セグメンテーション

自動運転シャトル市場の概要

バリューチェーン・ビジネスモデル

価格モデル

O & M シナリオ：コスト見積もり

O & M シナリオ：オペレーション要因

O & M シナリオ：コスト分析

主要OEMの戦略：自動運転（AD）の段階的な導入

将来のロードマップ：自動運転

需要の拡大：自動運転シャトルのメリット・アプリケーション

アプリケーションに関する自動運転シャトル市場の可能性

バリューチェーン分析：アフターマーケットソリューションプロバイダー

データ分析：データ品質の向上とユーザーインサイトの提供

モビリティ利用例 1- Lyft

テクノロジー利用例 1-リアルタイム交通サービス

自動運転シャトルのメーカー系スタートアップ

自動運転シャトルのテクノロジー系スタートアップ

自動運転タクシーの急速な台頭

台頭するアーバンモビリティの概況

自動運転シャトルの実際の影響 - 経済の活性化

規制概況

規制の展望 - 北米：米国

規制の展望 - 北米：カナダ

規制の展望 - 欧州

規制の展望 - アジア：中国、日本、シンガポール、韓国

規制の展望 - オセアニア：オーストラリア、ニュージーランド

規制の展望 - 中東：ドバイ

テクノロジーのロードマップ  
コスト比較：自動運転シャトル vs. 従来型シャトル  
自動運転シャトルおよびコストのリモデリング：2017 vs.2025  
自動運転シャトルの進化  
ブロックチェーン技術が自動運転シャトルへ与える影響  
市場概況  
Navya：企業分析  
Bestmile：企業分析  
May Mobility：企業分析  
Postbus：企業分析  
Transdev：企業分析  
Ridecell：企業分析  
新たなビジネスモデル  
無人配送シャトル  
自動運転車のコンセプト  
市場規模・機会  
自動運転シャトルの出荷台数予測シナリオの分析  
自動運転シャトルの収益予測シナリオの分析  
結論・将来の展望：市場全体  
成長機会・企業への提言  
まとめ  
付録